

令和5年度 年間授業計画

東京都立南葛飾高等学校 定時制課程

教科・科目	公民・倫理	2単位	対象学年・組	4学年1組・2組
教科書 副教材等	倫理(東京書籍)	教科担任	榎本	

指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生き方在り方を考える。 2. 青年期の特徴や青年期の発達課題を理解する。 3. 先哲の思想を理解し、自らの人生観を理解する一助とする。 4. 現代社会の諸課題を倫理的視点から考察する。
------	--

学期	月	指導内容	時数	指導上の留意点
1 学期	4	①青年期の意義	4	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題については、発達心理学的な内容も盛り込む。 ・宗教学習は現代における宗教の意義を理解させるとともに、歴史的な背景についても触れる。
	5	②青年期の課題と生き方	8	
	6	③日本と宗教	8	
	7	④キリスト教・イスラム教・仏教	6	
2 学期	9	⑤環境倫理	8	<ul style="list-style-type: none"> ・公害問題、ファストファッションの問題、SDGsを取り上げる。 ・資本主義・社会主義・平等の実現など、答えがない問いを思考させる。
	10	⑥功利主義	8	
	11	⑦資本主義・社会主義	8	
	12	⑧平等な社会を実現するために	6	
3 学期	1	⑨生命倫理	8	<ul style="list-style-type: none"> ・安楽死・臓器移植問題を中心に扱う。 ・「善く生きる」ことについて考え、倫理のまとめとする。
	2	⑩「善く生きる」とは何か？	6	
	3			

評価の観点・方法	・定期考査の得点に、出席状況や提出物(授業プリントや意見調査)、授業態度などの状況を加味して総合的に評価する。
----------	---